

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【公表番号】特表2008-544337(P2008-544337A)

【公表日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【年通号数】公開・登録公報2008-048

【出願番号】特願2008-507729(P2008-507729)

【国際特許分類】

G 06 F 17/50 (2006.01)

G 06 F 11/28 (2006.01)

H 01 L 21/82 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/50 6 6 4 P

G 06 F 17/50 6 7 2 Z

G 06 F 11/28 3 4 0 C

H 01 L 21/82 T

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月8日(2009.4.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

回路の表現をコンパイルする段階と、

トリガのために1つ又はそれ以上の信号を選択する段階と、

トリガロジックを前記回路に挿入する段階と、

複製のために前記回路の表現の一部分を選択する段階と、

前記回路の選択部分を複製する段階と、

遅延ロジックを挿入して、前記回路の複製部分への入力を遅延させる段階と、

前記回路の表現を再コンパイルする段階と、

前記トリガ信号の1つ又はそれ以上を選択する段階と、

選択された各トリガ信号の1つ又はそれ以上の状態を設定して、トリガ条件をセットアップする段階と、

前記トリガ条件が発生したときに、前記回路の複製部分における1つ又はそれ以上のレジスタの1つ又はそれ以上の状態と、前記トリガ条件をもたらしたステップのシーケンスとを記録する段階と、

を含む方法。

【請求項2】

複数のロジック要素と、

前記ロジック要素の1つ又はそれ以上の複製と、

前記回路の複製部分への入力を遅延させるために、前記回路の複製部分に結合された遅延ロジックと、

トリガ条件のセットアップを可能にするために前記回路の複製部分に結合されたトリガロジックと、

前記トリガ条件が発生したときに前記回路の複製部分の実行を一時停止することができるよう、前記回路の複製部分に結合されたクロック制御ロジックと、

を備える集積回路。

【請求項 3】

マシンによってアクセスされるときに、  
回路の表現をコンパイルする段階と、  
トリガのために 1 つ又はそれ以上の信号を選択する段階と、  
トリガロジックを前記回路に挿入する段階と、  
複製のために前記回路の表現の一部分を選択する段階と、  
前記回路の選択部分を複製する段階と、  
遅延ロジックを挿入して前記回路の複製部分への入力を遅延させる段階と、  
前記回路の表現を再コンパイルする段階と、  
前記トリガ信号の 1 つ又はそれ以上を選択する段階と、  
選択された各トリガ信号の 1 つ又はそれ以上の状態を設定して、トリガ条件をセット  
アップする段階と、  
前記トリガ条件が発生したときに、前記回路の複製部分における 1 つ又はそれ以上の  
レジスタの 1 つ又はそれ以上の状態と、前記トリガ条件をもたらしたステップのシーケン  
スとを記録する段階と、  
を含む動作を前記マシンに実行させるコンテンツを含むマシンアクセス可能媒体を備えた  
製品。